

平成28年度 第一回宜野湾市市民協働推進協議会 会議録（要旨）

日時：平成28年11月9日（水）午後7時00分～午後9時00分

場所：宜野湾市役所 第三常任委員会室

出席：岩田直子委員長、稲垣暁委員、大仲るみ子委員、宮道喜一委員、宮城美由委員、
久米保源委員、松本勝利委員

欠席：島袋盛子委員、松田朝仁委員、新垣真弓委員
事務局（3名）

- ・委嘱状交付式
- ・市長あいさつ（代読国吉企画部長）
- ・宜野湾市市民協働推進協議会について
協議会設置要綱の説明
委員長副委員長の選任（岩田委員長、稲垣副委員長で全員了承）
委員長挨拶及び各委員自己紹介

開会

委員長 議題に入ります。事務局より報告をお願いします。

～事務局より宜野湾市市民協働施策のあゆみ・平成28年度の取り組みの説明～

委員長 次に議題1の協働による地域づくりの現状に進みます。

事務局 計画の進み具合や助言をいただくなかで、新しい委員もおり協働に対する認識も様々なので、それぞれの委員の認識する協働の取り組みを付箋紙に書きだして話し合い、認識を共有するワークをしていきたいと思います。

～各委員の認識する協働の取り組みの現状ワーク～

書きだされた主な内容

- ・指針・計画ができ有機的につながる仕組みづくり、これからスタート
- ・5年に渡る協働職員研修により土台づくり進んできた
- ・地域の中での協働の取り組みはすでに多様に存在するはず
- ・「人」の循環つながりが生まれ始めている
- ・内に向かう力、外に開く力を促すとき
- ・情報を共有する場がない
- ・課題を共有する場がない
- ・つなげる視点（コーディネーターがない）
- ・人材（財）発掘の場づくり
- ・既存の組織を活用した協働
- ・担い手であるという意識はこれから
- ・大人と子供たちの接点を見出すまちづくり

- ・公共施設運営の担い手の多様化
- ・「何かしたいけど」「機会があれば」外国人の地域参画これから？

事務局 次回、協議会で何を評価するのは事務局の案としましては、5つの事業を計画と照らし合わせてうまくいっているのか、2月に地域づくり塾、交流カフェ、研修・講座。3月に地域づくり助成事業、情報発信と全体についての助言をいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員長 評価の仕方はどうしたらいいのかイメージが無いのですが、どういう程度の評価でしょうか。

事務局 言葉による評価をいただいて、他市町村の事例や指標などが必要なのか見ていく中で進めた方がいいのでしょうか。

委員 事務事業評価するわけではなく、施策は継続していくものなので、今年度どこまで積み上げていて、次年度はどこを重点的にし、5つの施策をどう関連付けるのか、つながりを作っていく、そういう意見交換が外部の視点からできる、次年度の事業をよりよくするための意見を出せる方がいいかと思います。そのためにはどういう事業をやったのか知らないといけない。

事務局 次回は3つの事業をどのようにやったのか説明できる情報を持ってきて、話し合いの場で評価していただくということで大丈夫でしょうか

委員 実施計画があり、施策がどのようにつながっていくのかということはあるので、絵に描いた餅にはしないように、どうするのかという投げかけの仕方でも話はできると思います。

事務局 ガチガチに評価するのではなく、5年の期間があるのでそこに行くための軌道修正、アドバイスがいただければと思います。

事務局 このような進め方の準備をし、次回以降の日程は第二回協議会を2月21日(火)、第三回協議会を3月28日(火)に開催してよろしいでしょうか。

(委員了承)

委員長 ではこれで、協議会を終わります。

閉会